

GO TO CHINA

中国健食通販の戦略

presented by 薬事法有識者会議

I N D E X

PART1. 全体像

PART2. 保健食品ビジネスの現状

PART3. 手順と法規制

PART4. 中国において健食ビジネスで成功する戦略

PART5. 税金

ブログ「見てわかる旬の薬事&景表法情報」もご覧下さい

<http://ameblo.jp/yakujijohou>

中国進出をお考えの方はお気軽にメールでお問合せ下さい。

メール: info@yakujihou.com

PART1. 全体像

<前注> 中国の健食は日本のトクホにあたる保健食品(政府が許可を与えるもの)と一般の健康食品に分けられます。

一般の健康食品では一切効能はうたえません。

保健食品は日本のトクホよりもハードルが低く許可効能の種類も多いので保健食品で行くことを考えるべきです。

1. 保健食品の販売方法は店販、通販、直販(アムウェイ型)があります。

店販は大手に任せておきましょう。(2008年現在でファンケルは40店舗)

通販はこれまでテレビショッピングかTaobaoのような楽天and/orヤフオクスタイルしかありませんでした。純粹のダイレクトマーケティングはなかったのです。

その原因は決済手段とロジが未成熟であったことによりますが最近になってこれらの原因が解決されて真の通販がスタートしています。昨年、中国における保健食品の売上は1.5兆円を超えたと言われています。この先、真の通販マーケットが何兆円規模に育つのは確実です。

この大きな金鉱を掘り進める水先案内人として私共LLP薬事法有識者会議はお役に立ちたいを考えています。

2. 保健食品の許可を取得するには期間にして1~2年、費用にして5百万円~1千万円かかります。

しかし、それをやる価値があるかどうかを見きわめるのが先決です。

そこで、そこで私共は、個人輸入スタイルでテストマーケティングを行うシステムを構築しました。

まずはテストマーケティングを行い、その結果を見て、本格的に中国に進出する価値があるのかどうかを検討しましょう。

3. 尚、あらかじめ2点をチェックして下さい

まず、貴社が考えている商品に使用禁止成分が含まれていないか調べておくことが必要です。

➡ 別表の食薬区分をご覧下さい。

次に、保健食品の27効能に該当する商品かどうかにもチェックして下さい。

使用禁止成分が含まれていたり、該当する効能がない場合はその製品を中国で売ることを検討する価値はありません。

ブログ「見てわかる旬の薬事&景表法情報」もご覧下さい

<http://ameblo.jp/yakujijohou>

中国進出をお考えの方はお気軽にメールでお問合せ下さい。

メール: info@yakujihou.com

食薬区分

中国における食薬区分

中国における食薬区分リストは、2002年2月に中国衛生部が通達した文書「保健食品原料管理の更なる規範化について」に記載されています。以下、リストを掲載します。

食薬両方に使用できる素材

丁香、八角茴香、刀豆、小茴香、小蓟、山药、山楂、马齿苋、乌梢蛇、乌梅、木瓜、火麻仁、代代花、玉竹、甘草、白芷、白果、白扁豆、白扁豆花、龙眼肉（桂圆）、决明子、百合、肉豆蔻、肉桂、余甘子、佛手、杏仁（甜、苦）、沙棘、牡蛎、芡实、花椒、赤小豆、阿胶、鸡内金、麦芽、昆布、枣（大枣、酸枣、黑枣）、罗汉果、郁李仁、金银花、青果、鱼腥草、姜（生姜、干姜）、枳椇子、枸杞子、栀子、砂仁、胖大海、茯苓、香橼、香薷、桃仁、桑叶、桑椹、桔红、桔梗、益智仁、荷叶、莱菔子、莲子、高良姜、淡竹叶、淡豆豉、菊花、菊苣、黄芥子、黄精、紫苏、紫苏籽、葛根、黑芝麻、黑胡椒、槐米、槐花、蒲公英、蜂蜜、榧子、酸枣仁、鲜白茅根、鲜芦根、蝮蛇、橘皮、薄荷、薏苡仁、薤白、覆盆子、藿香。

保健食品に使用できる素材

人参、人参叶、人参果、三七、土茯苓、大蓟、女贞子、山茱萸、川牛膝、川贝母、川芎、马鹿胎、马鹿茸、马鹿骨、丹参、五加皮、五味子、升麻、天门冬、天麻、太子参、巴戟天、木香、木贼、牛蒡子、牛蒡根、车前子、车前草、北沙参、平贝母、玄参、生地黄、生何首乌、白及、白术、白芍、白豆蔻、石决明、石斛（需提供可使用证明）、地骨皮、当归、竹茹、红花、红景天、西洋参、吴茱萸、怀牛膝、杜仲、杜仲叶、沙苑子、牡丹皮、芦荟、苍术、补骨脂、诃子、赤芍、远志、麦门冬、龟甲、佩兰、侧柏叶、制大黄、制何首乌、刺五加、刺玫果、泽兰、泽泻、玫瑰花、玫瑰茄、知母、罗布麻、苦丁茶、金荞麦、金樱子、青皮、厚朴、厚朴花、姜黄、枳壳、枳实、柏子仁、珍珠、绞股蓝、胡芦巴、茜草、葶苈、韭菜子、首乌藤、香附、骨碎补、党参、桑白皮、桑枝、浙贝母、益母草、积雪草、淫羊藿、菟丝子、野菊花、银杏叶、黄芪、湖北贝母、番泻叶、蛤蚧、越橘、槐实、薄黄、蒺藜、蜂胶、酸角、墨旱莲、熟大黄、熟地黄、鳖甲。

保健食品に使用禁止の素材

八角莲、八里麻、千金子、土青木香、山萮蓂、川乌、广防己、马桑叶、马钱子、六角莲、天仙子、巴豆、水银、长春花、甘遂、生天南星、生半夏、生白附子、生狼毒、白降丹、石蒜、关木通、农吉利、夹竹桃、朱壳（罂粟壳）、红升丹、红豆杉、红茴香、红粉、羊角拗、羊躑躅、丽江山慈姑、京大戟、昆明山海棠、河豚、闹羊花、青娘虫、鱼藤、洋地黄、洋金花、牵牛子、砒石（白砒、红砒、砒霜）、草乌、香加皮（杠柳皮）、骆驼蓬、鬼臼、莽草、铁棒槌、铃兰、雪上一枝蒿、黄花夹竹桃、斑蝥、硫磺、雄黄、雷公藤、颠茄、藜芦、蟾酥。

PART2. 保健食品ビジネスの現状

1 許可効能

1. 以下の27種類です。

- (1)免疫力を増強する効能
- (2)血中脂肪分を下げるのを助ける効能 ※
- (3)血糖を下げるのを助ける効能 ※
- (4)抗酸化の効能 ※
- (5)記憶の改善を助ける効能 ※
- (6)目の疲労を和らげる効能 #
- (7)鉛分の排出を促進する効能 ※
- (8)のどをすっきりさせる効能 ※
- (9)血圧を下げるのを助ける効能 ※
- (10)睡眠を改善する効能
- (11)母乳の分泌を促進する効能 ※
- (12)体力疲労を和らげる効能
- (13)無酸素耐久力を高める効能
- (14)放射線の害に対する保護を助ける効能
- (15)脂肪を減らす効能 ※
- (16)成長と発育を改善する効能 ※
- (17)骨密度を増加させる効能
- (18)栄養の偏りによる貧血を改善する効能 ※
- (19)化学的な原因による肝臓疾患に対する保護を助ける効能
- (20)にきびを治す効能 #
- (21)黄褐斑(目の下のしみ)を治す効能 #
- (22)皮膚の水分を改善する効能 #
- (23)皮膚の油分を改善する効能
- (24)腸内細菌を調節する効能 ※
- (25)消化を助ける効能
- (26)便通を促進する効能 ※
- (27)胃粘膜の損傷を補う効能

注:※印の効能を標榜するには、動物試験及び臨床試験が必要。

#印の効能を標榜するには、臨床試験のみ必要。

一種類の処方製品で、申告する効能は二つまで。

2. これまでの取得状況

中国 保健食品許可数に関する情報

*<http://app1.sfda.gov.cn/datasearch/face3/base.jsp?tableId=31&tableName=TABLE31&title=?>

口保健食品&bcId=118103387241329685908587941736 に外国企業による保健食品許可取得のリストがあります

ヘルスクレーム27種名		中国製	%	日本製	%	他国製	%
	登録総数	3,525		12		187	
	<各効能>						
1	免疫増強	997	28.3%	7	58.3%	44	23.5%
2	体力疲労緩和	453	12.9%	1	8.3%	9	4.8%
3	血中脂質抑制	365	10.4%	1	8.3%	27	14.4%
4	睡眠改善	208	5.9%			10	5.3%
5	便秘改善	182	5.2%			7	3.7%
6	しみ・そばかす除去	170	4.8%			6	3.2%
7	骨密度増加	155	4.4%			6	3.2%
8	ダイエット	143	4.1%			1	0.5%
9	化学性肝障害保護補助	115	3.3%			4	2.1%
10	栄養性貧血改善	103	2.9%			2	1.1%
11	血糖値抑制	100	2.8%	1	8.3%	3	1.6%
12	記憶力向上	90	2.6%				
13	抗酸化	68	1.9%			2	1.1%
14	酸欠耐性向上	67	1.9%	1	8.3%	2	1.1%
15	眼精疲労対応	45	1.3%			2	1.1%
16	咽頭清涼	41	1.2%			4	2.1%
17	放射線保護補助	40	1.1%				
18	消化促進	38	1.1%			1	0.5%
19	鉛排出促進	35	1.0%				
20	血圧抑制	24	0.7%				
21	胃粘膜保護補助	22	0.6%				
22	ニキビ除去	21	0.6%				
23	皮膚保湿補助	20	0.6%	1	8.3%	2	1.1%
24	成長発育促進	17	0.5%				
25	母乳分泌促進	4	0.1%				
26	腸内細菌調整	2	0.1%			1	0.5%
27	皮脂調整						
	栄養補充剤(サプリメント)	*		*		*	

2 日本製品

2003年以降日本企業で保健食品を取得した企業は以下の通りです。

日本企業が取得した中国保健食品一覧 (2003年12月12日以降。更新・変更含む)

製品の中国名称	保健機能分類	取得期日	企業名
海贝特牌 易贝安粉	免疫调节	1999-03-08 2007-10-20	富士バイオ株式会社？ 静岡県富士市横割5丁目13番11号
爱丽克丝牌 爱丽克丝海波 尔软胶囊	增强免疫力	2008-01-17	株式会社ジャスティス 大阪府大阪市北区梅田2丁目4番13-100 4号
爱丽克丝牌 爱丽克丝胶囊	改善皮肤水分	2005-07-28	株式会社 日本生物製剤 東京都渋谷区富ヶ谷 1-44-4
健之力牌 深海鲨鱼肝油软 胶囊	提高缺氧耐受力	2005-06-04	株式会社 自然療法協會 東京都中野区中央 4-26-10(本社)
福可达牌 海藻口服液	增强免疫力	2006-02-27	株式会社エフ・シーシー堀内 福岡県久留米市東合川1丁目6番3号
畠中牌 甲壳素片	增强免疫力	2005-08-22	畠中製薬株式会社 大阪府大阪市中央区淡路町3丁目3-10
生源牌 生源粉	增强免疫力	2005-12-13	株式会社 エイ・エル・エイ((株)シー・エム・シ ー) 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタ ワー20F
参寿惠牌 人参果软胶囊	免疫调节	1999-09-03 2005-03-07	株式会社 アイ・ティ・ビ・エス 東京都荒川区西日暮里 5-11-8 三共セントラ ルプラザビル東棟 3F
阿明诺牌 美丝康亭胶囊	增强免疫力	2008-06-12	株式会社アミノアップ化学 北海道札幌市清田区真栄 363 番地 32 ハイテ クヒル真栄
山田養蜂場牌 人参蜂胶液	增强免疫力	2008-09-24	株式会社 山田養蜂場 岡山県苫田郡鏡野町市場 194
山田養蜂場牌 峰胶软胶囊	辅助降血脂	2008-11-11	株式会社 山田養蜂場 岡山県苫田郡鏡野町市場 194

PART3. 手順と法規制

1 手順

安全性試験・定量試験・安定性試験

+

機能試験(ヒト又は動物) ※12の表をご覧ください

↓

保健食品審査センターによる評価

↓

SFDAに申請

※以上が期間にして1~2年、費用にして5百万~1千万円かかります。

2 法規制

「保健食品登録管理法」(2005年7月1日施行)によって規制されます。

http://hfnet.nih.go.jp/usr/annzenn/ChinaSFDA_20050822.pdf#search=

ブログ「見てわかる旬の薬事&景表法情報」もご覧ください

<http://ameblo.jp/yakujijohou>

中国進出をお考えの方はお気軽にメールでお問合せ下さい。

メール: info@yakujihou.com

PART4. 中国において健食ビジネスで成功する戦略

1. まずは日本からのテストマーケティング…STAGE1

1) 中国では何をやるにも許可が必要です。

健食という商品には事実上保健食品という許可が必要ですし、インターネットで広告を行うにも許可が必要です。

また、そのための会社を用意する際には、51%以上中国資本が入っていないとダメだということもあります(この点の規制は上海が最も緩い)。

これらの許可をすべて取得してビジネスを始めたがさっぱり売れなかったというのではあまりにもリスクの大きいビジネスということになります。

2) まず、①使用禁止成分がないか、②保健食品27の効能に該当するか、をチェックして下さい。

3) 2)がOKなら、私どもでは、まずは個人輸入スタイルでテストマーケティングを行うことをおすすめしています。手順はこうです。

①日本において中国向けの中国語のECサイトを作ります(日本で作るので何の許可も要りません)。

↓

②中国の消費者はアリペイというデビットカードを使って支払いを行い、日本の企業にはアリペイを通して日本円で売上が入ります(デビットカードなので決済即入金となります)。

↓

③EMSで配送

4) 受付はすべてメールで行います(私どもの外注先の中国人スタッフが対応します)。

サイトのプロモーションはリスティング広告で行います。

5) サイトを立ち上げてプロモーションを3ヶ月行い、その結果を見て、次のSTAGEに進めるかどうかを判断します。ここまでに必要な費用は大体2~300万円です。

2. 次は中国での許可取得→製造→販売…STAGE2

1) STAGE1において行けそうだと判断したときは次のSTAGEに進みます。まず、保健食品の許可を取得します。

これは私どもと提携している日系の保健食品のOEMメーカーにて行います。期間にして1~2年、費用にして500万~1000万円必要です。

2) 許可を取得したら、OEMにて製造します。

選択肢としては日本で製造して中国で輸入するという方式もありえますが通関トラブルが生じやすいことや保健食品の許可取得が困難なことから現実的ではありません。

3) 販売は次のようなチャンネルが考えられます(通販の場合)。

A. 中国でECサイトを立ち上げダイレクトECを行う

B. 東方CJ、ANVのようなテレビショッピングに卸し販売してもらう。

cf. ANV…上海周辺(視聴世帯1200万人)…元ライブドアの中西氏が副社長

- ・5万円くらい払ってテレビショッピング番組を作ってもらう
- ・さらに5万円払って1チャンネル(大体50万視聴世帯)で毎日1度1ヶ月オンエアしてもらう。
- ・商品は予めANVに預けておく。電話注文はANVで受け、ANVで配送し代引きで決済
- ・売上の7割がバックされる
- ・注文客名簿はANVが保有

C. DMを送る

- ・中国には個人情報保護法がないので名簿の売買は自由です。
 - ・上海には元国営のIサービスというウォーターサーバー供給会社があり350万世帯の名簿を持っており、そういう名簿も利用可能です。
- 日系企業のサントリーや小林製薬なども利用しているそうです。

※通販のフルフィルメント

上海の場合—

- ①コールセンターとしては「800」が使えます。
- ②ロジスティクスとしては「上海佐川」が使えます。

ブログ「見てわかる旬の薬事 & 景表法情報」もご覧下さい

<http://ameblo.jp/yakujijohou>

中国進出をお考えの方はお気軽にメールでお問合せ下さい。

メール: info@yakujihou.com

PART5. 税金

輸入において関係する税制は次のとおりです。

1、商業目的の輸入のケース

関税、消費税(関税・消費税は商品によって異なります)、増値税(17%)がかかります。

2、個人輸入のケース

1) 基本的には1と同様の扱いです。

ただし、小口の場合は免税の対象になります(具体的には、ジェトロの「中国の小口通関制度について」
http://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/qa_01/04A-051022)

2) 小口

小口とは、「郵送一回あたりの限度額が 1000 元を超えないものが対象となり」、「免税額は 500 元」です。
(「中国税関が合理的な数量の範囲内と判断し」た場合)。

免税額というのは、免税の上限が 500 元ということです。言い換えれば、関税と消費税と増値税を合わせた税率(輸入税といいます)の上限が 50%以内の場合であれば、上限(500 元)いっぱいまで免税されます。

* ジェトロによれば、健康食品等の個人輸入の場合、ほとんどは輸入税が 50%に収まるとのこと。つまり、課税されません。

ブログ「見てわかる旬の薬事 & 景表法情報」もご覧下さい

<http://ameblo.jp/yakujijohou>

中国進出をお考えの方はお気軽にメールでお問合せ下さい。

メール: info@yakujihou.com

PART6. 健食か化粧品か

1. もし貴社が中国で売るのは健食でも化粧品でもどちらでもいいというお考えであれば、私どもは化粧品通販をお勧めします。
中国では健食も化粧品も商品の許可を取得しなければなりません。
しかし、その大変さは、化粧品よりも健食の方がはるかに上です。
許可取得に当たり、一般化粧品に対して要求されるデータは安全性データですが、健康食品、つまり、保健食品に対しては有効性データが必要です。
この差は大きな差となって現れるので化粧品の方をお勧めします。
2. しかし、健食でも中国で買受け先があるというのであれば話は別です。
その場合には、保健食品の許可を取得する意味があります。

ブログ「見てわかる旬の薬事 & 景表法情報」もご覧下さい

<http://ameblo.jp/yakujijohou>

中国進出をお考えの方はお気軽にメールでお問合せ下さい。

メール: info@yakujihou.com